



すずんで やさしく たのびく

たんかい の かぜ

# 淡海の風

No. 11 1/7



高島市立今津北小学校 学校だより 文責：清水

## 明けましておめでとうございます

いよいよ三学期が始まりました。子どもたちにとっては、新年の誓いを胸にしなが、進級に向けてのラストスランの始まりです。現学年で身につけたことを生かしなが、課題として明らかになったことなどを、現学年のうちに、できるところからしっかりと取り組んでほしいと思います。

また、同様に学校側としましても、年間指導計画と照合しながら、子どもたちに付けるべき力がきちんと付けられるよう、ラストスパートの時期となります。

### 啐啄一致（そったくいっち）



ひな鳥が卵の内側から殻をつつくと、親鳥がそれを察して外から卵をつつのが一致するとひな鳥の孵化(7か)が無事にできるとされ、必要な時にグッドタイミングで必要な援助を行うという意味です。これには、親鳥にはひな鳥の孵化の時期がわかるという説もあるようです。

カリキュラムを計画通りに実施しながらも、一人ひとりの成長の過程において、適時適切なアドバイスや指導ができるよう、職員一同、より一層努力して参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### ★左義長について

本校の伝統的行事である左義長ですが、今年には既にお知らせの通り1月14日(水)に実施いたします。

「左義長(ギギョウ)」は、古くは「三毬杖(ギギョウ)」または「三毬打(ギギョウ)」と標記されていたようで、3本の毬杖(ギギョウ)という意味のようです。

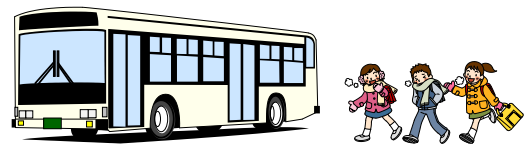
毬杖については、江戸時代後期、守貞謄稿(刊サマソウ)による「近世風俗志(キンセイフウゾクシ)」にイラスト付きで説明があります。グラウンドゴルフのスティックのようなもので、「この手に持ちしは玉なり」「ギツテウ」などと説明書きがついています。



また、平安時代から江戸前期には子どもたちの正月遊びであったものが、江戸後期にはすでに「祝儀だけの物となりし」とあります。この毬杖(ギギョウ)3本を結んで立て、正月飾りなどを焼いたことが三毬杖すなわち左義長の始まりであるということです。

ちなみに、わが今津北小学校の左義長は、昭和初期から行われるようになったようです。(今津町史)

# バス通学について



1月7日から2月末まで、三谷、伊井、酒波、南北深清水、桂の児童はバス通学となります。バス通学の児童については、定期券を持つこととなりますので、くれぐれも紛失しないようご注意ください。また、乗降時の安全確認やの車内でのマナーについても、学校でも指導はしましたが、お家でも、公共交通機関でのマナーについて再度お話し頂けると幸いです。

## 二学期の学校評価から

### 1. 児童アンケート

- ①学校は楽しい 98%
- ②行きたくないと思った 6%
- ③集合場所遅刻無し 97%
- ④あいさつする 90%
- ⑤仲よく過ごす 99%
- ⑥勉強がわかる 85%
- ⑦勉強時間ほぼ目標以上 86%
- ⑧読書時間  
1時間以上：13% 1時間ぐらい：10% 30分程度：37% ほとんどしない：40%
- ⑨寝る時刻  
9時まで：54% 10時まで：35% 11時まで：7% それ以後：4%
- ⑩困ったら先生に相談 85%
- ⑪何でも話せる友達あり 95%
- ⑫1日のゲーム時間  
しない：32% 30分：34% 1時間：20% それ以上：14%
- ⑬1日のテレビ時間  
見ない：5% 30分：20% 1時間：24% それ以上：51%

### 2. 保護者アンケート

- ①楽しく登校 100%
- ②わかる学習指導 93%
- ③きまりを守る 94%
- ④あいさつ 87%
- ⑤規則正しい生活 86%
- ⑥仲よく過ごす 98%
- ⑦学校は相談できる 87%
- ⑧教育方針の発信 94%
- ⑨家庭学習時間（20分～学年×10分） 82%
- ⑩週末読書している 59%

週末読書については、本年度の重点取り組みであるにもかかわらず、1学期に比べて数値が低下しています。深く反省するとともに、指導のあり方について見直しの必要を感じています。加えて、保護者の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

また、総合的には比較的高いポイントではあっても、孤立感や見捨てられ感を抱くような可能性が考えられるなど、ここは見逃してはならないという項目もあり、きちんと手を打っていくことも大切と考えています。

その他保護者の皆様より寄せられたコメント等については真摯に受け止め、改善に努めていくつもりです。今後ともよろしく申し上げます。